

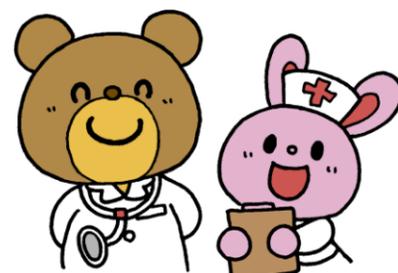
ほけんだより

6月1日
粉河保育園



新しいクラスになって二ヵ月がたちましたね。少しずつ慣れてきたかな？
楽しい保育園、でも疲れも出てくる時期です。
疲れて体が弱っている時は、感染症にもかかりやすくなってしまいます。
しっかり遊んだら、しっかり食べて、しっかり寝て、次の日に持ち越さない様にしましょう♪

アデノウイルス



【アデノウイルスの代表的な3つの症状】

- ・咽頭炎(のどの腫れ・痛み)
- ・結膜炎(目ヤニ・目の充血)
- ・高熱(38度～40度近い高熱)

潜伏期間は5～7日。
感染経路は飛沫・糞口・接触感染

登園届けが必要です。

～アデノウイルスが原因となる症状～

★はやり目(流行性角結膜炎)

流行性結膜炎(りゅうこうせいけつまくえん)とも呼ばれ、アデノウイルスが付着した手や指が、目に触れることで起こります。
片目だけに症状が出ることも多く、白目の部分が真っ赤になって目やにや涙が出るほか、まぶたが腫れることもあります。

★プール熱(咽頭結膜熱)

プール熱は、咽頭結膜熱(いんとうけつまくねつ)とも呼ばれ、アデノウイルスが引き起こす症状の中で最も多く発症します。
夏場にプールで感染することが多いので、それがそのまま名の由来になっています。

口、鼻、喉、目の粘膜から感染し、喉の痛みや腫れ、目の充血、目やに、頭痛、腹痛、下痢、38～40度の高熱などの症状が現れます。

★滲出性扁桃炎

滲出性扁桃腺炎(しんしゅつせいへんとうえん)に感染すると、扁桃腺に白い苔のようなものができます。
この白い苔がある間は39度以上の高熱が出て、1週間くらい続くこともあるのですが、思いのほか元気なことが特徴です。
プールの水、便などを介して感染し、抗生剤が効かないのが特徴です。

★胃腸炎

アデノウイルスは、喉だけでなく、口から入って胃や腸に届くことで胃腸炎を引き起こすことがあります。
症状は、腹痛や嘔吐、下痢、発熱。この胃腸炎は、3歳未満の乳幼児、特に0歳児の感染が多く、季節を問わず発症します。
脱水症状にならないように、水分をしっかりとることが大切です。胃や腸に負担のかかる脂分や、乳製品の摂取は控えましょう。

★肺炎

アデノウイルスは、肺に感染するとウイルス性の肺炎を起こします。5歳以下の乳幼児に発症することが多く、重症化し、
髄膜炎や脳炎などを引き起こすこともあるので注意が必要です。発熱や咳症状が長引くときには、早めに医療機関を受診するようにしましょう。

夏風邪



夏は高温多湿の環境を好む感染症が流行します。
呼吸器の症状だけでなく、目や胃腸への症状があるのが特徴で、人から人へと感染します。
充血や目やになどの症状が出る流行性角結膜炎、
39℃を超える高熱とのどの赤み(痛みや腫れ)、
結膜充血の3つの症状が出る
咽頭結膜熱(プール熱)などがあります。

予防のためにしたいこと

- 清潔なハンカチ・タオルをつかう
感染の恐れがあるため、貸し借りはせず
清潔な自分のハンカチ・タオルを持ち歩きましょう。
- 手洗い・うがいをする
口、目、鼻の粘膜から感染するため、
食事前には念入りにしましょう。

6月2日は歯科検診です。
当日の朝は歯みがきを忘れず
お願いします。



爪を切ってください

7月からはプールも始まります。
周りの友だちを傷つけてしまうこともあるので
子どもの長い爪は大変危険です。
短く切って、清潔にしましょう。

